

音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会議名	第3回音更町総合計画推進委員会
開催日時	令和4年11月22日（水） 午後6時30分から午後7時45分まで
開催場所	音更町役場庁舎3階 特別会議室
委員出席者	岡庭委員長、林委員長職務代理、石井委員、菅原（美）委員、菅原（博）委員
オブザーバ出席者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課長 範国氏
町側出席者	吉田企画財政部長、早苗企画課長、川村企画調整係長、津久井まちづくり政策推進員、月居産業連携課長、櫻井商工観光課長、高瀬都市計画課長、齊藤街路公園整備係長
傍聴者	なし
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議件 第6期総合計画重点施策及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書の検証について 4 その他 次回のスケジュールについて
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度第3回音更町総合計画推進委員会議案 ・ 資料1 総合計画推進委員会 質問・意見に対する回答 ・ 資料2 就業、雇用の支援について（季節労働者の通年雇用化） ・ 資料3 道の駅おとふけ なつぞらのふる里に係る資料 ・ 資料4 道の駅ガーデンスパ十勝川温泉来場者数の推移 ・ 資料5 国道241号交通事故対策事業及び無電柱化事業について
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>【基本目標2の施策（2）農商工観連携の推進について】</p> <p>委員：本年10月に発表された北海道道の駅ランキング2021において、道の駅ガーデンスパ十勝川温泉が長時間滞在したい道の駅道内トップテンで2位に入ったとのことだが、1位はどこか。</p> <p>事務局：七飯町の道の駅なないろ・ななえである。</p> <p>委員：道の駅おとふけの防災機能について、大雪災害による帰宅困難者等の発生を想定して避難訓練を実施したとのことであるが、ブラックアウトなど他の災害への対応についても教えてほしい。</p> <p>事務局：道の駅おとふけでは、あらゆる災害を想定して防災機能を持たせており、停電に対しては、72時間、施設のほぼ全電力を賄うことができるLPG発電設備を備えている。このため、スマホの充電などへの対応も可能であるが、ポートの数が十分かどうかは、常に検証しながら備蓄していきたいと考えている。</p> <p>指定避難所としては、200人程度の受入れを想定して、毛布、敷きマット、食料、水などを備蓄しており、さらに、車中避難所として、広大な駐車場を活用して車の中で避難する人の受入れも想定している。</p> <p>また、広大な敷地や道東道のインターチェンジ前という立地を生かして、十勝や釧路などで大規模災害が発生した場合の災害支援拠点として、管外から訪れる自衛隊や警察、消防などをはじめとする救援部隊の前進基地としての運用も想定している。</p>

委員：道の駅ガーデンスパ十勝川温泉について、水道料金の検針票の裏にスパの割引券を掲載するなど、一生懸命利用促進に取り組んでいるものと理解しているが、スパの利用者数はどのくらいか。
事務局：先ほど説明した来場者数は、道の駅を訪れた人数であり、スパのみの利用者数は手元に数字がないため、後日回答する。

委員：道の駅おとふけを観光で訪れる人の動線として、十勝川温泉に向かうメロディーライン上に郷土資料室があることから、途中で郷土資料室に寄り、音更や十勝川温泉の歴史などを学んでから十勝川温泉に行くような流れがつかれないか、検討してほしい

事務局：道の駅おとふけは、来町者に音更町のことを知ってもらえる仕掛けづくりにこだわっており、音更町の歴史に関する5枚のパネルや、どのような農産物が生産されているかなど、基幹産業である農業に関する展示のほか、伊福部昭さんに関する展示もあり、その中で図書館に伊福部昭資料室があり、更に詳しい展示があることを紹介している。今回の意見を踏まえ、音更町の歴史に関するコーナーの一角に、教育委員会とも連携して、郷土資料室を紹介するパネルやリーフレットなどを配置する方向で、次年度に向けて検討していきたい。

事務局：ナショナルサイクルルートは、自転車で十勝全域を8の字に回る全長約400kmのルートとして国から指定を受けている。この中でサブルートが設定できることとなっており、現在、2つの道の駅をつなぐサブルートの設定を検討している。そのルートとしては、メロディーラインと重なる可能性が高いことから、サブルートに関する協議の中で、ビューポイントとして郷土資料室を設定するなど、郷土資料室を生かす方策などについて検討していきたい。

【基本目標4の施策(5) 国道、道道の整備促進について】

委員：電柱や電線がなくなり、街並みがきれいになっていく中で、十勝大橋を渡ってきたときに見える看板が鹿追町や帯広市のもので、音更町のものではないのがさびしく感じるが、そうした点の改善に向けた動きなどがあるか確認したい。

事務局：無電柱化が進むと、華美な看板が目立つようになるが、まちのにぎわいや活気につながっているという見方もあり、無電柱化の全区間が完了した際に、どういう意見が大勢を占めているかなどを見極めながら検討していきたいと考えている。